

你好

中国語を学ぶ会
平成16年4月発行 第21号
連絡先 Tel 33-3177
神 山 Fax 32-5594

kāiduān 四月是开端的季节

初々しい小学一年生が黄色い帽子をかぶり、可愛い手を挙げて横断歩道を渡る姿。あなたにもこんな時代があったのだ。

会社の入社式に臨む青年たちの真剣なまなざし。就職難の中で勝ち取った門出、終身雇用時代は去り、会社の前途に一抹の不安はあるものの彼らの瞳は希望に満ちていた。

春爛漫の桜も散り、木や草も一斉に芽吹き始めた。このように四月は人生のスタート、そして自然の息吹を感じる季節である。

さて、四月六日崇善公民館で新入会員の火曜班見学会が行われた。「中国語を学ぶ会」も開端の季節を迎える筈だった。しかし、来場者はたったの一人だけ。ちよつと意外で、また寂しくも感じた。ここ数年、各所に中国語教室が増えてきたのが一因かも知れない。私たちの身辺にも密かに変化が忍び寄ってきているのを感じる。

学習の方法、会の運営そして私生活の上でも変化が求められているのだと思う。従来どおりを踏襲しているだけでは取り残されてしまうかも知れないのだ。

皆さんも考えていることを積極的に話し合い、より良い会に育てあげられるようにご協力をお願いします。

万里の長城は本当に 宇宙から見えるのか？

中国の小学生が使っている国語の教科書に『长城砖』という一文が載っている。それによると、アメリカ人宇宙飛行士の話として「宇宙から人類の創造した二つの建造物——中国の長城とエジプトのピラミッド——が見えた」との記述がある。

長城はご存知の通り、東は河北省渤海湾に臨む山海関から、西は甘肅省ゴビ砂漠の嘉峪関に至る全長約6,000kmに及ぶ城壁で、春秋時代に齊・燕・趙・魏などの諸国が辺境の異民族の侵入を防ぐために延々と築いたものである。その後、秦の始皇帝が大増築を行い、北京北部の八達嶺などで見る現在の長城は明代に大修築されたものであり、更に観光用として整備されたものである。数年前、河北省の張家口で見た長城は築城当時の面影を残しており、日干し煉瓦が長年の風雨にさらされて崩れ落ち、起伏が険しくとても登れるような状態ではなかった。

ともあれ、6,000kmもの長さがあるのだから宇宙から見えても不思議ではないだろうとも考えていたが、さてよ、その幅がただか数メートルの長城が宇宙からはたして認識できるのだろうかとも疑問に思っていた。

しかし、中国初の宇宙飛行士楊利偉は「宇宙から長城は全く見えなかった」と言っている。

これに関して、このほど閉幕した全人代（全国人民代表大会）の席上、ある代表から「宇宙飛行士が万里の長城を肉眼で見た」としている教科書の記述を訂正するようにとの意見が提出された。専門家の間からも、教科書は小学生の基礎知識の形成にとって非常に重要な位置付けにあるので、不正確な記述をそのまましておくのは好ましくないとの意見も出されている。

これについて、中国の教育部は「すでにこの部分についての修正に着手している」と表明しているようだ。

面子を重んじる中国において国定教科書をかかも素早く修正するとは、中国も変わりつつあるなと感じた次第である。

今回は多数の寄稿をいただきましてありがとうございました。さらにご寄稿が増えて皆さんの原稿だけで紙面が埋まるようにと願っております。

次号は7月頃を予定しておりますので早めに準備を始めてご協力をお願いいたします。

内容はなんでも結構ですから気軽に発表の場としてご利用ください。

それでは学習も頑張りましょう。

新語紹介

星期三班 落合一正

最近新聞、雑誌等で時折見慣れない言葉を目にすることがある、いわゆる新語である。中国でも同じように新語が生まれているようです。中国の雑誌「人民中国」の中国語新辞苑から拾い出してみました。何か参考になれば幸いです。

1. 水泥森林 (shuǐ ní sēn lín) [コンクリートジャングル]
比喻高密度水泥建筑构成的现代都市景观。
高層のコンクリート建築が密集した近代大都市をジャングルに見立てた喩え。
2. 追星族 (zhuī xīng zú) [追っかけ族]
狂热崇拜影星, 歌星, 体育明星的人, 多为青少年。
スター、歌手、スポーツ選手を熱狂的に崇拜する若者のファン。
3. 私密 (sī mǐ) [プライベート]
个人私事, 私生活范畴的事。
私事、個人の私生活
4. 丁克家庭 (dīng kè jiā tíng) [ディンクス・ファミリー]
夫妻均有收入并自愿不生育子女家庭。“丁克”音译自英语 DINKS(double income no kids)。
夫婦共働きで、子どもを持たない家庭
5. 高尚 (gāoshàng) [上品で流行している]
原义为道德水平很高, 新指住宅的高雅, 时尚。
もともとは道德のレベルが高いことであるが、最近特に住宅の品の良さ、流行していることをいう。
6. 义工 (yì gōng) [ボランティア]
自愿参加义务性公益工作, 或自愿参加义务性公益工作的人。
自らの希望で社会事業などに無償で参加すること、またはそれをする人。
7. 回头率 (huítóu lǜ) [見返り率]
受人回头再次注视的比率, 常用来形容女子相貌出众, 穿着漂亮。
通常、人が振り返って見る率。女性の美しさを表す表現。
8. 东东 (dōng dōng) [もの]
即“东西”, 网民故意将“东西”写成“东东”, 有谐趣幽默的效果, 后被广大网民接受广泛使用。
「東西(もの)」の意味だが、インターネットのユーザーはわざわざ「東西」を「东东」と書く。それはユーモアなのだが、後に一般のユーザにも広く使われるようになった。
9. 黄金周 (huángjīn zhōu) [ゴールデン・ウィーク]
自2000年起, 中国规定每年“五一”“十一”和“春节”均放假三天, 再将前后相邻的双休日调到一起, 每年就有三个七天长假。
2000年から中国は、毎年のメーデー(5月1日)、国慶節(10月1日)と旧曆の春節をそれぞれ3日間の休みと規定した。さらに土日の休みをあわせて全部で7日間の長期休暇とし、毎年三つの長期休暇ができた。
10. 扎啤 (zhā pí) [生ビール]
用广口杯盛装的鲜啤酒。“扎”译自英语 jar(广口瓶, 广口杯)。
ジョッキにつがれた生ビール。「扎」は英語の jar から音訳されたもの。
11. 车位 (chē wèi) [駐車スペース]
停放车辆的位置。
自動車を停めておく場所。

12. 豪宅 (háo zhái) [億ション]
豪华的住宅
豪華な邸宅
13. 当红 (dāng hóng) [人気の]
(明星等) 正走红(吃得开, 受欢迎)
(スターなどが) 人気を集めていること。
14. 登顶 (dēng dǐng) [頂点に立つ]
原指在登山运动中最后登山顶峰。新义: 比喻赢得第一; 获得成功。多用于体育方面。
もともとは、山登りで頂上に登ることを指す。新しい意味は優勝し、一位になることのため。スポーツ界で多く使われている。
15. 出镜 (chū jǐng) [(映画やテレビに) 出演する]
指在电影, 电视中露面。
テレビや映画に出演すること。

不思議な話 怖い話

その一 星期三班 五十嵐真美

中国には不可思議な話がたくさんあって、事案なのか作り話なのか、どこにもない、でもどこかにありそうな世界を創り出している。

その中の一つ。秦の時代、南方に「落頭民」という人種がいて、夜眠ると、首だけが飛び、体の方は少し冷たい。胴体に蒲団を着せると首は戻れず苦しい息遣いとなり、とりのけてやると首は元にもどるといふ。

日本のろくろ首は伸びはするが胴体とつながっている。日本でも首だけ飛ぶ、という話があるのだろうか。

これだけなら「お話し」なのだが、アジアが好きで旅していた頃、マレーシアでこんな話を聞いた。夜になると首だけ散歩に出かける人々がいるというのだ。澄んだ水は好まず、首は汚い泥水を飲んだりしてもどつてくるという。「南方」というのは東南アジアをさしているのだろうか。

またインドネシアのバリでも不思議な話をして恐い話をいくつか聞いた。私の友人で今もクアラルンプールに住む人は黒魔術をかけたれそうになり恐い思いをしたし、実際、未だに呪術師も多にいる。イスラム教が伝わる以前のアニミズム的土着信仰の名残りだろうか、呪術師は今も人々の生活に根を下ろしている。古代中国もそうだったのだろうか。

もしかすると今も夜になると首だけ飛び回る人種がどこかに生き続けているのかもしれない。

その二

中国には怖い話が多い。その中でも「剪燈新話」が東洋文庫に入っているが眠る前のくつろぎのひとときに読む本としては恐ろしい。この中の「愛卿伝」を元に上田秋成が「雨月物語」の「浅茅が宿」を翻案し書いている。映画にもなり、流麗で美しい文章と哀切な情感は怪談でありながら「もののあわれ」を感じさせる。

ところが、何と驚いたことにタイに同じ話があるのだ。しかもこちらは実話。いなかで幸せに暮らしていた若夫婦がいたが、夫は生まれてくる子の顔も見ぬまま、いくさにとられ、何年もたつてようやくもどることができ、妻子と再会。幸せに暮らし始めたが、村人が「お前の妻は難産で命を落とした。あれは幽霊だ」と告げる。夫は信じない。怒った妻は村人らにとりついて殺していくが、それを見て夫は、妻がすでに生きた人間でないことを知り、坊さんに助けを求める。法力によって妻はめでたく成仏し、その時使われた石は、未だに現存しているという。オカルトチックだが、この話はタイではけっこう知られていて、ドラマや映画にもなっている。

これが本当の話だと、中国の方も実話を採録したものかもしれない。中国の方も実話を採録したのも恐ろしきは女心なり。

中国語と私

星期二班 大川 瑞穂

私が中国語を学ぶ会に入会するキッカケとなったのは、2人の子供が通う小学校のそれぞれのクラスに、中国から来たクラスメートがいたからです。そのお母さん達と友人になり、中国が前よりもっと身近に感じられ、中国語にも興味を持ちました。

数ヶ月に1度位会っておしゃべりしますが、会話は日本語です。(残念ながら私にはまだ中国語で会話する力がありません。)その時に、中国の友人が日本語のどんな所が難しいと感じたのか、また、私は中国語のどんなところが難しいと感じているのかを話しました。

彼女は、日本語には漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字と種類が多い事、また1つの漢字に音読み、訓読みと2つ以上の読み方(発音の仕方)がある漢字が多い事をあげました。私は中国語を学んで四声と語順が難しいと感じています。2年間中国語を学んできて、「この字の発音はこうだったかな?」と見当をつけても四声をはつきりと覚えていない。これを間違えると意味が変わってしまうのに……。

時々習った範囲で作文の宿題が出ます。そのとき、頭を悩ませるのが語順です。思っていることと違う意味になっていたりします。

このように悪戦苦闘しながらも、李老師と素敵なクラスメートに恵まれ、中国語を学ぶ会に楽しく足を運んでいます。ほんの少しずつでも上達していけたらと願いつつ……。

中国の友人の1人が笑い話を教えてくれました。2つご紹介します。

医院里的笑话

1. 牙医的幽默

牙医在报纸上登了一个聘用广告:

本人欲聘用一名女秘书, 联系电话: 7654321

注: 若打电话时没有人接听, 则此位仍然空缺!

2. 误诊

一医生对女儿说: “我说你那男朋友是个没出息的家伙,

这话你告诉他了吗?” “我对他说了, 他一点也不生气,

他说你误诊也不是头一回了。”

星期三班 蜂屋和男

万里の長城 中国政府が保護に本腰

世界最長の城壁で世界遺産に登録されている中国の[万里の長城]の損壊が進んでいる。北京市内の長城は長さ629キロあり、明代の長城の中でも最も価値のある部分である。

延慶県の八達嶺や懷柔区の慕田峪などは長城観光の名所として整備されているが、残りの大半は自然状態である。そこで中国政府が保護に影響を与える建築物の移転などを義務付けた。

又長城に登る行為や無許可の観光開発、城壁を建築材料に使うことなどを禁じたほか、長城を利用した大規模の映画、テレビ撮影なども抑制するよう決めた。

さらに、損壊は北京以外の地方にある長城でも深刻化している。河北省張家口市で長さ約1キロにわたり城壁ごと持ち去られ、道路工事に用いる石材などに使用される事件が発生している。長城沿線は経済発展から取り残された生活水準の低いへんびな農村がほとんどである。農民が城壁を住宅にしたり、穴を開けて貯蔵庫に使う行為なども、損壊に拍車をかけている。

台湾 中国出身の嫁入り “規制”

大陸新娘といわれる出身の花嫁に対して、台湾当局が管理強化に向けて法改正に乗り出した所、当の花嫁から猛反発をうけている。大陸新娘は台湾では身分証なければ、就職もクレジットカードの契約もアパートの賃貸契約も出来ない。

台湾当局が10年ぶりに改正に乗り出した背景には、台湾の生活水準の高さに引きつけられた大陸出身女性の急増がある。台湾人と結婚した中国人はこれまで17万で、そのほとんどは女性だ。しかも年間3万人のペースで増加している。

最近では中国女性を紹介する斡旋業も盛んだ。その一方で台湾での就労を目的にした偽装結婚も増え、犯罪発生率も高まってきた。台湾には、同じ漢民族ながら【本省人】と【外省人】→大陸出身者による意識の溝が根深く残る。「大陸新娘」問題はこうした問題にも一石投じている。

中国の結婚“民主化”

上司の同意必要◆ ◆ ◆身分証だけでOK

中国政府は結婚の手続きを大幅に簡略した法令を設定した。職場や団体など“単位”と呼ばれる末端組織が介入して来た結婚制度を変え、個人の自由を保障するものにした。

旧条例では結婚当事者は、職場や居民委員会などの出す独身証明や医療機関が発行する健康診断証明を行政機関に提出するように義務づけていた。新条例では、この義務を廃止。当事者が戸籍簿と身分証を持って婚姻登録機関に出頭し、配偶者がなく近親関係がないことの声明書に署名すれば結婚証を取得できる。また離婚については、職場や居民委員会の証明書を不要とし、その場で離婚登記できるようになった。

“単位” 中国の都市住民が所属する企業や機関、学校、郡などの組織指す。

中国共産党が国民の管理する上で設けた末端組織であり、給与や、年金など所属者の身分証などは、単位を通じて行う。ただ中国では市場経済化の本格導入に伴い、従来の単位を通じた管理が及びにくくなっている。

lǚtú fābìng jíjiù qīfāng 旅途发病 急救七方

1. 晕倒昏厥：

千万不可随意搬动，应首先观察其心跳和呼吸是否异常。如发现心跳、呼吸正常者，可轻拍患者并大声呼唤使其清醒。如无反应则说明情况比较严重，应使患者头部偏向一侧并稍放低，取后仰头姿势，然后采取人工呼吸和心脏按摩的方法进行急救。

2. 关节扭伤：

关节不慎扭伤后，切忌立即搓揉按摩，应立即用冷水或冰块冷敷 15 分钟。然后，用手帕或绷带扎紧扭伤部位，也可就地取材用活血、散淤、消肿的中药外敷包扎，便于及早康复。

3. 心源性哮喘：

奔波劳累，常会诱发或加重心源性哮喘的急性发作。病人首先应采取半卧位，并用布带轮流扎紧患者四肢中的三肢，每隔 5 分钟一次，可减少进入心脏的血流量，减轻心脏的负担。

4. 心绞痛：

有心绞痛史的患者，外出游玩应随带急救药品。如发生心绞痛症状，首先应让其坐起来，不可搬动，并迅速给予硝酸甘油含于舌下，同时服用麝香保心丸或苏冰滴丸等药物，以缓解病情。

5. 胆绞痛：

旅途中若摄入过多的高脂肪和高蛋白饮食，容易诱发急性胆绞痛疾病。首先要让发病者静卧于床，迅速用热水袋在右上腹热敷，也可用拇指压迫刺激足三里穴位，以缓解疼痛。

6. 胰腺炎：

有些人在旅游时喜欢走到哪里，暴饮暴食易诱发胰腺炎。发病后，应严格禁止饮水和饮食。然后，用拇指或食指压迫足三里、合谷等穴位，以缓解疼痛

jiǎnqīng jíshí yīyuàn jiùzhì
减轻病情并及时送医院救治。

7. 急性肠胃炎：

由于旅途中食物或饮水不洁，极易引起各种肠道疾病。旅途中如出现呕吐、腹泻和剧烈腹痛等症状，同伴们应立即将病人送附近医院诊治，并迅速将其吐、泻物按防疫要求进行消毒处理，以防细菌传播扩散。

zhōuzì
摘自人民日报 若山孝子

旅行の途中で急病に罹った場合の対処法について書かれています。漢方薬や穴（つぼ）を指圧するなど、中国式が多いようですが覚えておくと役に立つかもしれません。難しい単語が多いのでピンインを付けてみました。辞書を引いて訳してみてください。

中国家庭料理「烹明虾段」を作ってみましょう

用料	明虾 葱丝 姜丝 面粉 猪油
调味	味精 盐
做法	1. 明虾剪去头、尾，切段粘少许面粉，入六成油锅炸 30 秒钟 2. 沥干油 3. 锅里留油，加入葱，姜，味精，盐，明虾，猪油略炒，香味一出，即盛盘。

材料	車えび 葱の細切り 生姜の細切り 小麦粉 ラード
調味料	化学調味料 塩
作り方	1. 車えびの頭と尾を取り除き、ぶつ切りにして、小麦粉を少々まぶす。 6割程度の熱さの油で30秒ほど揚げ、油を切る。 2. 鍋に油を残し、葱、生姜、調味料、塩、えびをラードでさっと炒める。 香りが出てきたら、皿に盛る。

黄砂

何か異様な雰囲気を感じつつ目を覚ました。一九四四年四月七日、中国は敦煌のホテルでの朝のことである。風の音がする。そつと窓のカーテンを開けて外を見ると景色がぼんやりと霞んでゐる。霧だ！とつさに思った。だが待てよ、雨も降らないこの砂漠の街に霧が出るわけはない、と気付くのに時間は要しなかつた。これが話に聞く黄砂というものだろう。

着替えをしてホテルの玄関に出てみる。小さくて設備も良くない辺境の地のこのホテルの狭いロビーを抜け、両開きのドアを押して外に出ると、そこはもう大通りである。風は思ったより静かだつた。

中国人の朝は早い。大街をロバに曳かせた荷車を通る、自転車、そして歩行者が黄砂にどつぷりと包まれた中を行き交っている。女性は頭からスカーフを被り、マスクをしている人が多い。数十メートル先はぼんやりと霞んでゐる。この風景をなんと表現したらよいのだろうか。取り敢えず、黄な粉をさらに細かく砕いたような無数の微粒子が引力のない空間を浮遊しているようだ、とも言うっておこう。

その日のスケジュールは念願の莫高窟を観光することになつてゐる。バスに乗り、一時間余りをかけて出かけた。しかし無情にも「本日は強風のため小石が落下する危険があるので參觀禁止」だといふ。高くそびえるポプラの梢を見上げると確かに揺れてはいるがそれほど強い風とは思えない。残念だが仕方がない。

翌日の午後の飛行機で蘭州へ飛ぶ予定だったが黄砂のため欠航。翌々日もさらにその次の日も黄砂は一向に収まる気配はなく、結局、陸の孤

島「敦煌」に四泊もする羽目になつてしまつた。その間、いつ飛行機が飛べるようになるか判らないので原則外出禁止。と言つてもこの狭い敦煌では出かけるところもない。ガイドたちもこの難局をいかに打開するか鳩首凝議を重ね、ついに昼近くなつて急きよ列車を使つて蘭州へ向かうことに決定した。とは言ふものの列車の駅まで五六時間はかかるという。レストランで昼食を食べる余裕もなく、パサパサのコツペパンと塩辛いゆで卵、真つ赤なソーセージ、辛いザーサイの弁当をミネラルウォーターで流し込んで慌しくバスに乗り込む。

どうにか柳園駅にたどりつき、間もなく長い長い列車がホームに入つてきた。普通の場合は席の予約が取つてあるので悠々と乗り込めばいいのであるが、今回は文字通りの飛び入りだから、我々十五名のツアーの仲間たちは重たいスーツケースを持つてあつちの入り口、こつちのドアへと右往左往しながらもどうにか乗り込むことができた。ところが乗り込んだ車両は一般車の中、というより連結部に近い通路のところ。こんな状態で蘭州まで二十五時間も過ごすのかと思つて死にたくなつてしまふほど不安で一杯だ。そこに荷物を積み上げて待つこと一時間ばかり、その間ガイドたちは懸命に乗務員と掛け合つて寝台車の空き席を確保してくれた。

私に割り当てられたコンパートメントは、石油資源調査会社の若い二人の青年と、働きに出ている息子に会いに行った帰りの七十歳くらいのおじいさんとの四人部屋だ。この青年たち快活で話し好き、そして親切でおせっかい。お茶をどうぞ、たばこ吸いませんか、西瓜の種をくれたり、缶ジュースを差し出したかと思つと、まずそうなパンをちぎつて手渡してくれる。親切は有難いがもうやめてくれと言いたくなるほどだ。さらに青年たちの仲間が

やつてきては賑やかに盛り上がる。おじいさんは窓外の景色を眺める私に向かってガラス窓を指差し、「とても汚い」とガラスの汚れがあたかも自分の責任とでもいわんばかりにすまなそうにつぶやいた。口数の少ない実直な田舎の老人風の人だつた。

この経験は私にとつては会話の練習に大いに役に立つた。私が聞き取れないと青年たちは会社の便箋に文字を書いて色々と日本の事情などを質問してくる。

しかしほかの仲間たちはどうしているのだろうかと心配になつた。中国語の話せない人が中国人に囲まれて過ごす二十五時間は寂しく不安な長い時間だつたのではなからうか。

今回のツアーは敦煌でのアクシデントの他にも色々な事件が発生した。実は最初の日、私は長城観光の帰り、バスの運転席の隣に座つてビデオ撮影をしていたところ運転手の魔法瓶が私の足の上に倒れ、熱湯で左足の甲の皮膚がべろつと剥がれ真つ赤な肌が見え出す火傷を負つたのである。北京の中日友好医院や敦煌の医院で治療を受けながら、当初の予定を二日もオーバーする十三日間の旅行中ずつと痛い足をひきずりながらサンダル履きで過ごしてきた。さらに最終日の前日、北京で添乗員が置き引きに遭ひ、団体ビザや帰りの航空券などが盗まれてしまつたのだ。公安局でパスポートにビザをもらいなおしたり、飛行機への搭乗を拒否されたりと散々な目に遭つたけれど、却つて思い出深い旅行となつた。やつと帰りついた成田の桜はすでに散り始めていた。

毎年春先に黄砂のニュースを聞くたびにあのシルクロードの苦い体験の旅を想い出す。